

フィリピンに船員トレーニングセンターを設立

明治海運(株)グループのエムエムエス(株)(代表取締役社長:高橋 正次、本社:東京都目黒区)は、船員採用・育成拠点の一つであるフィリピンにおいて、現地法人による船員トレーニングセンターの運営を始めます。

同トレーニングセンターは、最新鋭のブリッジ・シミュレーター、エンジン・シミュレーター等を備えており、現場に根差した地に足の着いたトレーニング・プログラムを策定し、グループ内船員に多くのトレーニング機会を提供することにより、海事知識・技術を十分に備えた船員を継続的に確保し、以って船舶管理の品質を強化することを目的としています。

また、グループ外の船員のトレーニングも受入れ、優秀な比国船員の育成を図っていくものです。



(トレーニングセンター完成予想図)



(鍬入れ式の様子)

<トレーニングセンターの概要>

トレーニングセンター名: MK Maritime Training Center Inc.

建設予定地及び規模: フィリピン共和国 Cavite/Bacoor City

(首都マニラから南に約 25Km、ニノイアキノ国際空港より車で 25 分)

敷地面積 約 17,000 m²

建物延床面積 約 7,000 m²

トレーニング受入れ可能員数:年間延べ 約 5 千人

運営開始時期:2018 年 1 月